

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

NPO法人ミライノタネ

- ・理事会（開催年月日 令和6年4月26日）
開催場所 島根県鹿足郡津和野町河村1159-8
出席者数 4名（理事人数 4名）
議決事項の概要 令和5年度事業決算、次年度の事業計画について
- ・総会（開催年月日 令和6年4月26日）
開催場所 島根県鹿足郡津和野町1159-8
出席者数 10名（うち表決委任者 3名）／正会員数 10名
議決事項の概要 令和5年度事業決算と、次年度の事業計画について。

1. 事業内容

1.1 長期休み中のキャンプ

毎年、夏休みや春休みなどの長期休みに、小学生を対象として、清流・高津川での川遊びや、森林での活動を中心としたキャンプ事業を実施している。

今年度は夏休みに「とことん！川遊びキャンプ（日帰り・1泊・2泊）」、「真夏のサバイバルキャンプ」、「高津川の鮎づくしキャンプ」と題して川遊びを中心とした活動を行った。春休みには「森林のサバイバルキャンプ～秘密基地&火おこし編～」と題して、森林遊びのプログラムを実施した。

ミライノタネのキャンプは「なにをして遊びたい？」という問いかけから始まる。みんな一斉に同じことをではなく、異年齢の子が混じり合い、それぞれがやりたいことをやって自由に遊ぶ。もちろん思い通りにならないことも出てくるが、自分の興味から出発して、想いを形にしていく。人との関わりのなかで、ありのままの気持ちを受け止め、のびやかに育ち合うことを大切にしている。



もり 森林のサバイバル キャンプ

～ひみつきち&火おこし編～









①

フィールドは
電気も水道もない森林！
ひみつきちも遊具も
自分たちで考えて
ワクワクする場所を
つくっちゃおう！

②

たき火し放題！
火をおこす、
いろいろ燃やす、
ご飯をつくる、
みんなで囲む。
やっぱ火っていいよね。

③

きみはなにやりたい？
一人でもなにかつくるもよし。
仲間とかくれんぼするもよし。
なにもしないもよし。
いまの自分の心に素直に
のびのびたっぷり遊ぼう。

1.2 森林資源の循環を体感するプログラム

令和4年度よりしまね環境保全活動助成金を活用し、「地域の資源の循環を体感しよう！」という活動を実施しており、2年目の今年度は12月に「もりもりマスターキャンプ～木工&クヌギ編～」と題して活動を実施した。

「広葉樹を植え、育て、活用する循環を創り出し、カーボンニュートラルの実現と持続可能な地域の循環を体感する」ということをテーマに、津和野町美しい森林づくり条例と0歳児からのひとつづくりを掲げる津和野町ならではの教育プログラムをつくり、保育園～公教育～高校での実施を目指しており、まずは民間の事業で試験実施を行っている。

日帰り

12/2 土

9:30～16:00

◎枕瀬山友好の森（津和野町枕瀬）

「森林の循環」をテーマに
様々な体験ができる人気シリーズ。
その道の先人と一緒に、楽しく、
森林を守る暮らしを体感しよう！



しいたけ農家と共に、
クヌギの森林づくりを
体感しよう！



あるもので自由に工作！
森林にある自然のもので
なにをつくらうか！？



シシ肉、里芋、しいたけ・・・
津和野の秋の味覚
たっぷりの鍋で温まろう！

1.3 文京区交流キャンプ

今年度初めて、文豪 森鷗外をゆかりに津和野町と相互協力の協定を結んでいる東京都文京区の小学生を対象に、「文京区つわのこどもキャンプ」と題して、これまで当法人が実施してきた森林資源循環を体感できるプログラムを、都会の小学生に体感してもらえる形で実施した。文京区の森林環境譲与税を活用した補助を受け、森林環境教育および両自治体の交流を目的に実施した。

木を「植える、育てる、伐る、使う」という一連の流れを実際に体験したり、食や遊びを通じて津和野の豊かな自然を体感したりする活動を行った。また、森林関係者トークにおいて、多様な形で森林に関わ

る方 6 名のゲストの話を直接聞く機会をつくったり、津和野の小中学生と一緒に活動する時間を設け、ゲームや対話を楽しみながら都会と田舎を比較を行ったりなど、両区町の交流の機会をつくった。

	1日目	2日目	3日目	4日目
午前	萩・石見空港到着	起床	起床	起床・テント片付け
	バス移動&徒歩移動	ご飯づくり 朝食（野菜炒め、味噌汁）	ご飯づくり 朝食（野菜の卵とじ、味噌汁）	朝食（ホットドッグ、バナナ）
	はじまりミーティング	林業体験 -間伐体験	川遊び 鮎のつかみどり	片づけ・荷物整理
	テント張り	-チェンソー体験 -薪割り体験		川遊び
	昼食（スタミナ丼）	昼食（弁当）	昼食（鮎の塩焼き、おにぎり）	昼食(猪肉BBQ)
午後	川遊び	津和野の小中学生との交流 -レクリエーション -都会と田舎の比較WS -森林遊び -記念植樹	木質バイオマス発電所見学	川遊び
	ドラム缶風呂・シャワー		森林関係者トーク	ふりかえりミーティング
	ご飯づくり 夕食（鶏肉料理）	ドラム缶風呂・シャワー 夕食（カレーライス）	ドラム缶風呂・シャワー 夕食（パンパンジーそうめん）	空港へバス移動
	天体観測	ナイトプログラム	ナイトプログラム	搭乗手続き、お土産購入
夜	就寝	就寝	就寝	萩・石見空港出発 機内で軽食（おにぎり）

1.4 学生スタッフの募集・キャリア形成支援

小学生向けのキャンプ実施において、近隣の高校生や大学生と町内の若者を巻き込み、ボランティアスタッフとして活動する機会をつくっている。野外活動のスキルや安全管理についての研修に参加してもらい、現場で子どもと関わるなかで、若者たちにとっても学び育ちを得て、自身のキャリア形成支援に繋がる機会となっている。

特に当法人のキャンプは、自由遊びを基本として小学生が主体となって遊びを創る活動となっており、大人が決めたプログラムをみんな一斉に体験する訳ではないため、スタッフ自身も主体的に自分で考えて、現場の状況に合わせて臨機応変に行動することを求めている。そこで子どもと関わるなかで、上手くいくこともあれば失敗も経験し、スタッフどうしで感じたことを振り返って共有する場を持つことで、自分の性格や強み、興味について理解したり、調和的な対人関係の形成について学んだりする機会となっている。また、20代の若者から70代のシニア世代まで様々な世代の大人と出会い、関わり、対話する機会となっている。当法人のキャンプに参加したことをきっかけに、地域活動に積極的に参加するようになったという学生もいた。

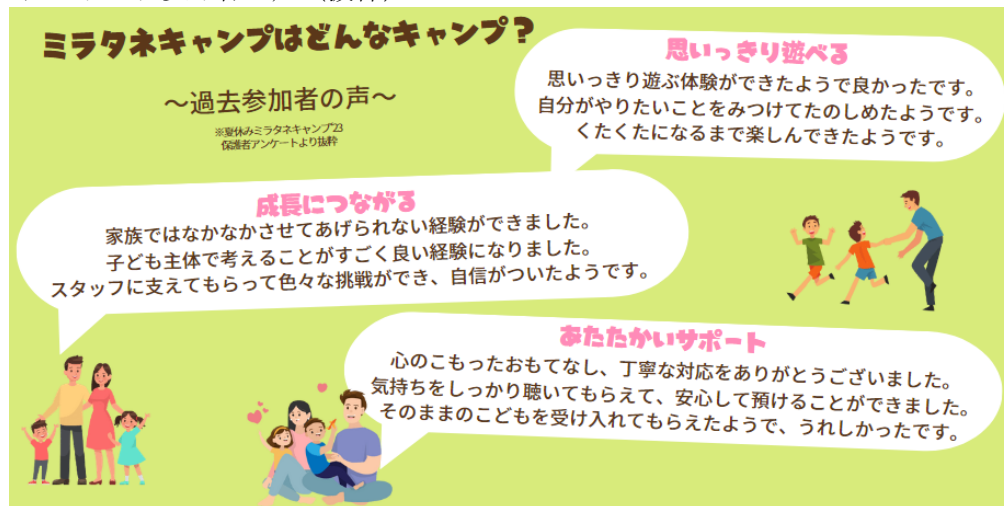
2 事業の成果

2.1 夏休みキャンプにおける初心者～リピーターまで幅広いニーズに対応したプログラムの充実

夏休みのキャンプ事業は令和3年より規模を少しずつ拡大してきたが、コロナの影響等を受け、満員に達しない企画も多かった。しかし今年度は例年の1泊2日の川遊びキャンプに加え、初心者向けの親子で参加できる日帰り川遊びから、リピーター向けの2泊3日川遊びやサバイバルキャンプなど幅広いニーズに対応したプログラムを用意して集客を実施し、全ての回で定員に達し、キャンセル待ちが多数出る回もあった。

2泊3日コースは荒天・河川増水により日帰りに短縮しての実施となったが、全てのプログラムを実施し、いずれも高い満足度を得る結果となった。

◎保護者アンケートより参加者の声（抜粋）



2.2 高津川の鮎を体感できるプログラムの開発

夏休みキャンプの「高津川の鮎づくしキャンプ」では、津和野が誇る一級河川・高津川の鮎の文化をまるっと体感できるプログラムを実施した。令和3年より「鮎の友釣り体験」という形で毎年実施してきたプログラムをアップデートし、友釣りだけでなく、刺し網漁体験、川舟の操縦体験、鮎のつかみ取り、天然と養殖鮎の食べ比べ、鮎飯や干し鮎のお吸い物などの鮎料理など様々な形で鮎を満喫できる形を取った。これまでは鮎の友釣りの難易度の高さから、一度に受け入れられる人数に限界があることと、小学生が飽きてしまう場合があることが課題であったが、今回の形でいずれの課題もクリアできることが分かった。高津川漁協、釣り具メーカーダイワ、地元の友釣り師や刺し網漁師などとの協力体制もでき、今後も毎年継続していきたいと考える。

2.3 文京区キャンプにおける都会の小学生を対象にした森林資源循環体感プログラムの開発

今年度初めて、文豪 森鷗外をゆかりに津和野町と相互協力の協定を結んでいる東京都文京区の小学生を対象に、「文京区つわのこどもキャンプ」と題して、これまで当法人が実施してきた森林資源循環を体感できるプログラムを、都会の小学生に体感してもらえる形で実施することができた。文京区の森林環境譲与税を活用した補助を受け、森林環境教育および両自治体の交流を目的に実施した。文京区アカデミー推進課や津和野町農林課とも連携し、新しくできた木質バイオマス発電所の見学も含め、津和野町美しい森林づくり条例に基づき取り組んでいる様々な津和野の森林施策を体感してもらった。両自治体の小学生どうしの交流や、津和野を第二のふるさとと感じてもらえるようなきっかけにもなった。参加者の満足度も高く、令和6年度の実施の継続実施も決まっており、今後も継続して実施していく。

2.4 森林資源循環をテーマにした木工&クヌギのプログラムの開発

令和4年度よりしまね環境保全活動助成金を活用し、「地域の資源の循環を体感しよう!」という活動を実施しており、2年目の今年度は12月に「もりもりマスターキャンプ～木工&クヌギ編～」と題して活動を実施した。

これまでは小学校高学年向け活動を中心に実施してきたが、保育園～低学年を対象とした工作やしいたけ植菌、植樹などの活動を行った。

次年度には行政や学校関係者にプログラムについて紹介するパンフレットの作成も計画しており、活動を継続していく。

2.5 私有林の整備および森林遊びプログラムの開発

春休みには「森林のサバイバルキャンプ～秘密基地&火おこし編～」と題して、瀧元地区の私有林を活動しやすく整備し、森林遊びのプログラムを実施した。

木や葉っぱなど森林にある材料とロープを使って秘密基地をつくったり、ロープでブランコやターザンロープなどの遊具をつくったり、火おこしをしてご飯をつくったり、キャンプファイアをしたりと、子どもたちが主体的に森林で遊べるプログラムとなった。夏には枕瀬山キャンプを借りているが、冬季は使えないため、もう一つのフィールドを整備し始め、今後参加者と一緒に遊び場を創るプロセスも楽しんでいく。

2.6 森林プログラムにおける安全管理体制の見直し

特に森林での活動におけるリスクやハザードの確認、見守り際のポイントなどを改めてスタッフで確認できた。道具の正しい使い方の徹底や、活動の切り替えタイミングでの見守り体制の確認など、今後も活動を継続していくうえでのポイントを確認した。スタッフの人数は多ければいい訳ではないため、今後もスタッフへの研修などで、重大事故を未然に防げるよう危機管理を徹底していく。

2.7 学生スタッフ募集体制の強化

これまでも津和野高校や吉賀高校と連携して、学生スタッフの募集に取り組んできたが、今年度の夏キャンプでは山口や島根の一部の大学にもチラシを掲示・配信してもらった。来年度は募集要項だけでなく、学生募集用のチラシを作成し、よりスケジュールに余裕を持って、多数のスタッフを巻き込んでいく。

2.8 地域のニーズ把握および年間活動スケジュールの固定化

今年は夏休みのキャンプに加えて、秋にもチラシを作成して12月の森林資源循環プログラムの募集と2月にも1泊2日のキャンプの募集をしてみたが、なかなか人数が集まらなかった。そこで2月のキャンプは中止し、春休みに1つの日程で日帰りと1泊2日のどちらの形でも参加できる形で募集し実施した。顧客の一部は年間何回も参加したいという人もいるが、多くは夏休みや春休みなどの長期休みでの参加がしやすいようであった。来年度は地域のニーズに合わせた形で、年度初めに年間スケジュールを開示し、よりスムーズに集客できる体制を整えていく。

2.9 津和野町農林課との連携体制の強化

12月の森林資源循環のキャンプは、なかなか参加者が集まらず、価格を下げて実費程度の参加費に変更した上で町内の子どもたちに直接声かけをし参加者を増やして実施した。参加者が集まらなかったのは、これまでも森林の活動で懸念材料であった、近隣地域の子育て世代にとって森林遊びというカテゴリにどこまで費用がかけられるか、また子どもたちの興味をどれだけ惹きつけられるか、という2点が影響しているのだと考えられる。このことを津和野町農林課に共有し、次年度以降町内の子どもたちの参加を後押しできるような参加費の補助をつけられないか相談したところ、次年度以降町内で森林体験プログラムに参加する場合（ミライノタネの事業に限らず）参加費の補助が出せるように検討をしてくれることになった。今後も行政とも情報共有・連携しながら、地元の子どもたちがより参加しやすい形で実施していけるよう取り組んでいく。

3 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施事業の 日時、場所、 従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数	事業費の 金額 (単位：千円)
①子どもの教育・ 子育て環境の充実 を図る活動 a) 夏休み自主事業	キャンプ 鮎の友釣り体験 川遊び サバイバル体験	令和5年7月23日～8月20 日間でのべ7日間 枕瀬山キャンプ場・高津川 のべ51名	鹿足郡、益田市、 浜田市、山口市の 小学生とその保護 者 のべ169名	628
b) 森林資源循環 文京区交流	キャンプ 森林資源循環を体感 町内の子との交流	令和5年8月1日～4日 枕瀬山キャンプ場・高津川 枕瀬山友好の森 のべ22名	東京都文京区の小 学生4～6年生30 名 および津和野町内 の小学生10名 のべ40名	869
c) 森林資源循環	森林資源循環を体感	令和5年12月2日 枕瀬山友好の森 6名	鹿足郡、益田市、 浜田市、山口市の 小学生と保護者 12名	520
d) 春休み自主事業	キャンプ 森林遊び	令和6年3月30日～3月31 日 瀧元地区の私有林 のべ10名	鹿足郡、益田市、 山口市の小学生と その保護者 のべ15名	89
②学生・若者・子 育て世代のキャリ ア形成を支援する 事業 a) 若者・学生ボラ ンティアスタッフ 育成	キャンプ事業での高 校生・大学生・若者 等のボランティアス タッフ募集と育成	令和5年7月23日～8月20 日間でのべ7日間 令和5年8月1日～4日 令和5年12月2日 令和6年3月30日～3月31 日 のべ25名	近隣高校生、大学 生、町内若者 のべ43名	0
b) 地域のイベント 開催のサポート	キャンプ道具等の貸 し出し、イベント運 営の企画サポート	令和6年3月3日 津和野町内河原 2名	津和野高校県外生 と町内外生15名 Lady go～Tsuwano ～の会員6名 地域住民6名	27
③地域の資源、特 色を活かしたイベ ントの開催等によ り観光や中山間地 域の発展を図る事 業 a) 夏休み自主事業	①に同じ			
b) 森林資源循環 文京区交流				
c) 森林資源循環				
d) 春休み自主事業				
④その他目的を達 成するために必要 な事業	特になし			